

事後評価結果（平成 30 年度）

整理番号	
担当課	長崎県土木部 道路建設課
担当課長名	大塚 正道

事業名	一般国道251号 愛野森山バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県雲仙市愛野町 至：長崎県諫早市森山町	延長	1.8km		

**事業概要**  
島原道路は南島原市深江町から島原市を經由し、諫早市の長崎自動車道諫早ICへと至る延長約50kmの高規格道路である。愛野森山バイパスはこの島原道路の一部を構成し、国土交通省が整備している一般国道57号森山拡幅へ接続する延長1.8kmの自動車専用道路である。

**事業の目的・必要性**  
愛野森山バイパスの整備により、主要渋滞箇所である愛野交差点を通過することなく、諫早・島原方面へ通行できることから、所要時間の短縮、愛野交差点の渋滞緩和を目的としている。



工期	着工	H 19 年度
	完了	H 25 年度

事業費	再評価	101.0 億円
	最終	112.0 億円

B/C	再評価	1.6	総便益(B) 161.3 億円	総費用(C) 99.3 億円	基準年度 H 23 年度
	事後評価時点	1.26	総便益(B) 184.9 億円	総費用(C) 146.3 億円	基準年度 H 30 年度

事業期間	事業化年度	H 19 年度	用地着手	H 19 年度	供用年	(再評価) H 25 年度	変動	1.0 倍
	都市計画決定	H 年度	工事着手	H 20 年度	(実績)	H 25 年度	変動	1.0 倍

事業費	再評価時	(名目値) 101 億円	実績	(名目値) 112 億円	変動	1.1 倍
		(実績値) 億円		(実績値) 億円	変動	1.1 倍

交通量 (当該路線)	再評価時	9,300 台/日	実績	9,300 台/日	変動	1.0 倍
		(H42推計)		(H42推計)	変動	1.0 倍

旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	35.0 → 60.7 km/h	交通事故減少	23 件 → 7 件
------------------------	------------------	--------	------------

整備対効果 分析結果 (再評価)	B/C	1.6	総費用 99.3 億円 (事業費 98.8 億円 維持管理費 0.5 億円)	総便益 161.3 億円 (走行時間短縮便益 132.5 億円 走行経費減少便益 19.9 億円 交通事故減少便益 8.9 億円)	基準年	H 23 年
------------------------	-----	-----	--	--	-----	--------

事業の 効果等	整備対効果 分析結果 (事後)	B/C	1.18	総費用 146.3 億円 (事業費 145.6 億円 維持管理費 0.7 億円)	総便益 173.4 億円 (走行時間短縮便益 119 億円 走行経費減少便益 44.6 億円 交通事故減少便益 10.1 億円)	基準年	H 30 年
------------	-----------------------	-----	------	--	---	-----	--------

事業遅延によるコスト増 費用増加額 - 便益減少額 -

事業遅延の理由  
平成23年度の再評価以降、事業の遅延は無い

**客観的評価指標に対する事後評価項目**

- ・主要交通渋滞箇所の解除 愛野交差点 (H29.7)
- ・所要時間の短縮 約2分短縮

**その他評価すべきと判断した項目**

- ・沿線地域の生活環境改善 交通量の減少による歩行者の安全性の向上、沿線施設の利便性向上

事業による環境変化	環境影響評価に対する項目	
	環境影響評価については、対象外である	
	その他評価すべきと判断した項目	
	特になし	
	事業を巡る社会経済情勢等の変化	
	特になし	
	対応方針	
	当該事業に係わる対応方針 (今後事後評価の必要性及び改善措置の必要性)	
	道路整備に伴い、所要時間の短縮や主要渋滞箇所の解除、沿線地域の生活環境改善等の事業の効果がみられ、今後の事後評価の必要性、改善処置の必要性はないと判断している	
	同種事業に係わる対応方針 (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性)	
	特になし	
	特記事項	
	特になし	